

法律事務員のための簿記と会計知識

普段の業務で目にするトピックを理解しよう！

MOC 研修会 資料 2008/02/18 @開港記念館

作成者 成松(kei.Arima@gmail.com)

源泉徴収と年末調整—給料天引きの謎

- ・そもそもなんで月給 25 万なのに手取りは 20 万ちょっとしかないのか(謎)
- ・税金を確定するには？確定申告。税金は「所得」に。収入－経費－(おまけ)＝所得
- ・個人事業主：1 年間の営業活動の結果を、上記の式に当てはめて
- ・会社の場合もまあ同じ(個人は「所得税」法人は「法人税」)
- ・従業員の場合は？
 - ・従業員が全員個々に確定申告するのはとても大変(個人・会社・税務署)
 - ・従業員の経費は、つまり会社が負担している
 - ・収入に応じてほしいの金額を予め決めておいて、それを給与から引いて会社でまとめて支払えば、煩雑な事務から解放される！
 - ・年末に「おまけ」の部分を計算して、収入・税金の額などを確定させる

確定申告と会社の流れ

- ・会社とか事業主の最大の関心事は、「税金を納めること」
- ・事業者の 1 年はモノやサービスを提供して売上げを出し、最終的に税金を払うこと
- ・会社の流れとは、税金を中心に回っているととっても過言ではない。
- ・会社の運営を理解する(法律事務所にいるとピンとこないこともある)
- ・資金を調達する。資金繰りをする。現金以外での決済を行う(手形・掛け)、従業員の給与、税金、保険、会社の経費

財務諸表—会社の破産で突然、財務諸表を見てと言われた場合

- ・ 貸借対照表(Balance Sheet/BS) 損益計算書(Profit and Loss /PL)
- ・ わかりやすいのは、損益計算書 (≡収支計算書) 「一定期間の」売上—経費
- ・ よくわからないのは、貸借対照表。「ある時点での財務状況」を示す
財務状況→調達した資産(現金の増加、預金の増加、車の購入、パソコンの購入、建物の購入)と、そのための資金(銀行から借りた：負債、自分で元手を用意した：資本)のことで、調達した資産とそのための資金の合計額は必ず一致
- ・ 外向けの財務諸表。内向けの財務諸表
- ・ 決算期に会社がつぶれるわけではない。>財務諸表だけでなく、試算表も
- ・ BS の資産項目から回収できるものを考え、負債項目から債権者を類推する
- ・ 管財事件における収支計算というのは、要するに BS のお金ではない資産や負債を現金化(換価)した結果であるということ。
- ・ BS と PL の関係について、細かい説明は、巻末添付の資料(横弁研修)を参照

経費、預り金、実費—弁護士業務に関わる会計用語

- ・ 自由と正義の 2007 年 1 月号の特集が参考になります
- ・ 経費、売上は収支に関係するもので実費、預り金は収支には関係しないもの
- ・ 経費に関して 基本は青色申告決算書の項目+独自系(書籍研究費、事件費、諸会費等々)
- ・ その他

質問、メモ